

# EA21環境経営レポート

【活動期間：2021年4月～2022年3月】



®環境省

エコアクション21

認証番号0008042

## 地球に優しい

NO-DIG 総合エンジニアリング企業

掘らない・壊さない・環境にやさしいを追求する  
インフラ設備のトータルソリューション



(第12版)

2023年1月17日

アイレック技建株式会社

# 目次

|  |    |
|--|----|
| 1. 会社概要                                    | 1  |
| 2. 登録の範囲                                   | 2  |
| 3. 環境経営方針                                  | 3  |
| 4. 実施体制                                    | 4  |
| 5. 環境経営目標                                  | 7  |
| 6. 環境負荷の実績（過去3年間）                          | 11 |
| 7. 環境経営活動の取組み（2021年4月～2022年3月）と評価及び次年度の取組み | 13 |
| 8. 地域社会との共生及び環境関連情報の公開による社内外コミュニケーション      | 30 |
| 9. 環境関連法規の遵守【環境関連法規の違反・訴訟等の有無】             | 31 |
| 10. 代表者による評価と見直し・指示                        | 32 |

# 1. 会社概要

アイレック技建は、“**地球に優しいNO-DIG総合エンジニアリング企業**”として、非開削推進（エースモール）事業、非破壊探査（エスパー）事業、点検・リニューアル事業及び環境事業を4本柱として技術・商品開発に取り組み、『**掘らない、壊さない、環境に優しいを追求する社会基盤設備のトータルソリューション事業**』を展開しています

|         |   |   |      |                 |
|---------|---|---|------|-----------------|
| 会社名     | アイレック技建株式会社   |   | 設立   | 1987年6月23日      |
| 代表      | 代表取締役社長 飯田 敏昭   |   | 資本金  | 1億              |
| 所在地     | 本店  | 〒111-0034 東京都台東区雷門1-4-4 ネクストサイト浅草ビル<br>Tel : 03-3845-8109 Fax : 03-3845-8119<br>URL : <a href="https://www.airec.co.jp">https://www.airec.co.jp</a> E-mail : <a href="mailto:airec@airec.co.jp">airec@airec.co.jp</a> |      |                 |
|         | 支店等   | 北海道、東北、西日本営業本部、東海、中国、四国、高松、九州、茨城  |      |                 |
| 環境管理責任者 | 取締役 企画総務部長 古川 智章  |   |      |                 |
| 担当者     | 企画総務部総務課長 富田 利文、企画総務部 高取 千絵、安全品質管理部EMS担当 田中 祥乃  |   |      |                 |
| 事業内容    | <ul style="list-style-type: none"><li>①小口径推進機エースモールのレンタル及び施工</li><li>②地下埋設物探査装置エスパー等のレンタル及び技術指導</li><li>③管路マンホール診断・補修機器（PC/WJ、ケーブル撤去、MH首部補修等）のレンタル及び施工</li><li>④設計コンサルティング[通信管路設計]</li><li>⑤非破壊探査（地中埋設物・空洞調査、構造物調査等）</li><li>⑥環境エンジニアリング（LED照明等）</li><li>⑦建設材料及び建設物品の販売</li></ul> |   |      |                 |
| 許可登録    | 建設業 国土交通大臣許可（特-3）第14138号<br>（土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、電気工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、電気通信工事業）<br>建設コンサルタント登録 建04第4984号（道路部門）<br>測量業 登録第（6）-24904号  |   |      |                 |
| 社員数     | 158名（人材派遣社員含む）【2023年1月1日現在】   |   | 事業年度 | 2021年4月～2022年3月 |

## 2. 登録の範囲

本店及び本店以外の全事業所（10事業所）における業務並びに従業員を対象とする

| アイレック技建(株)本・支店 (EA21 対象全事業所) |  |
|------------------------------|--|
| 本店                           | 〒111-0034 東京都台東区雷門1-4-4ネクストサイト浅草ビル6、7、8 F<br>Tel : 03-3845-8109 Fax : 03-3845-8119   |
| 北海道支店                        | 〒063-0823 北海道札幌市西区発寒3条6丁目1-10 N T T 発寒ビル1 F<br>Tel : 011-662-8109 Fax : 011-676-5105 |
| 東北支店                         | 〒984-0022 宮城県仙台市若林区五橋3-2-1 N T T 五橋第2ビル3 F<br>Tel : 022-213-8109 Fax : 022-261-8119  |
| 西日本営業本部                      | 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-22-17西船場辰巳ビル2 F<br>Tel : 06-6443-8109 Fax : 06-6441-8119      |
| 東海支店                         | 〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1-13-8アーバンネット布池ビル4 F<br>Tel : 052-935-8109 Fax : 052-932-8119    |
| 中国支店                         | 〒734-0004 広島県広島市南区宇品神田3-12-11宇品神田ビル<br>Tel : 082-253-8109 Fax : 082-505-0080         |
| 四国支店                         | 〒790-0808 愛媛県松山市若草町3-6 N T T コムウェア松山ビル5 F<br>Tel : 089-986-8109 Fax : 089-933-9747   |
| 四国支店 高松ロケ                    | 〒761-0301 香川県高松市林町2217-15香川産業頭脳化センタービル401<br>Tel : 087-814-7109 Fax : 087-814-5109   |
| 九州支店                         | 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-7-22第14岡部ビル5 F<br>Tel : 092-415-1415 Fax : 092-415-1416     |
| 非開削推進事業本部 第二技術部              | 〒300-2657 茨城県つくば市香取台B47街区16<br>Tel : 029-896-3700 Fax : 029-896-3705                 |
| 非開削推進事業本部 第二技術部(島名倉庫)        | 〒300-2655 茨城県つくば市島名501番地<br>Tel : 029-828-7716 Fax : 029-828-7717                    |

### 3. 環境経営方針

#### 【 基本理念 】

アイレック技建株式会社は非開削推進(エースモール)、非破壊探査(エスパー)に関わる先端技術を開発・提供すると共に、点検・診断・リニューアルによる社会基盤設備の長寿命化及び環境・計測技術を展開するNO—DIG総合エンジニアリング企業であり、当社の事業が地球環境保全に貢献できる強みを発揮し続け、継続的に環境保全活動に取り組みます。

#### 【 基本方針 】

- (1)環境保全への取組みを企業経営の最重要課題の一つとして位置付け、企業活動の全ての領域で環境保全の向上に取り組めます。
- (2)当社の企業活動に関わる全ての環境関連法規を順守します。
- (3)事業活動に伴う環境負荷に対して、環境目標及び環境活動計画を作成して、環境保全に貢献します。
  - ①省資源・省エネルギー
  - ②廃棄物排出量の削減・再資源化
  - ③グリーン購入の推進
  - ④非開削推進、非破壊探査、点検・診断・リニューアル及び環境・計測技術による省エネルギー及び廃棄物排出量の削減
- (4)地域社会との共生を図り、社会貢献活動に協力するとともに、環境関連情報の公開により社内外とのコミュニケーションを図ります。

この方針は公開するとともに、アイレック技建株式会社の全社員の周知徹底します。

2020年7月1日

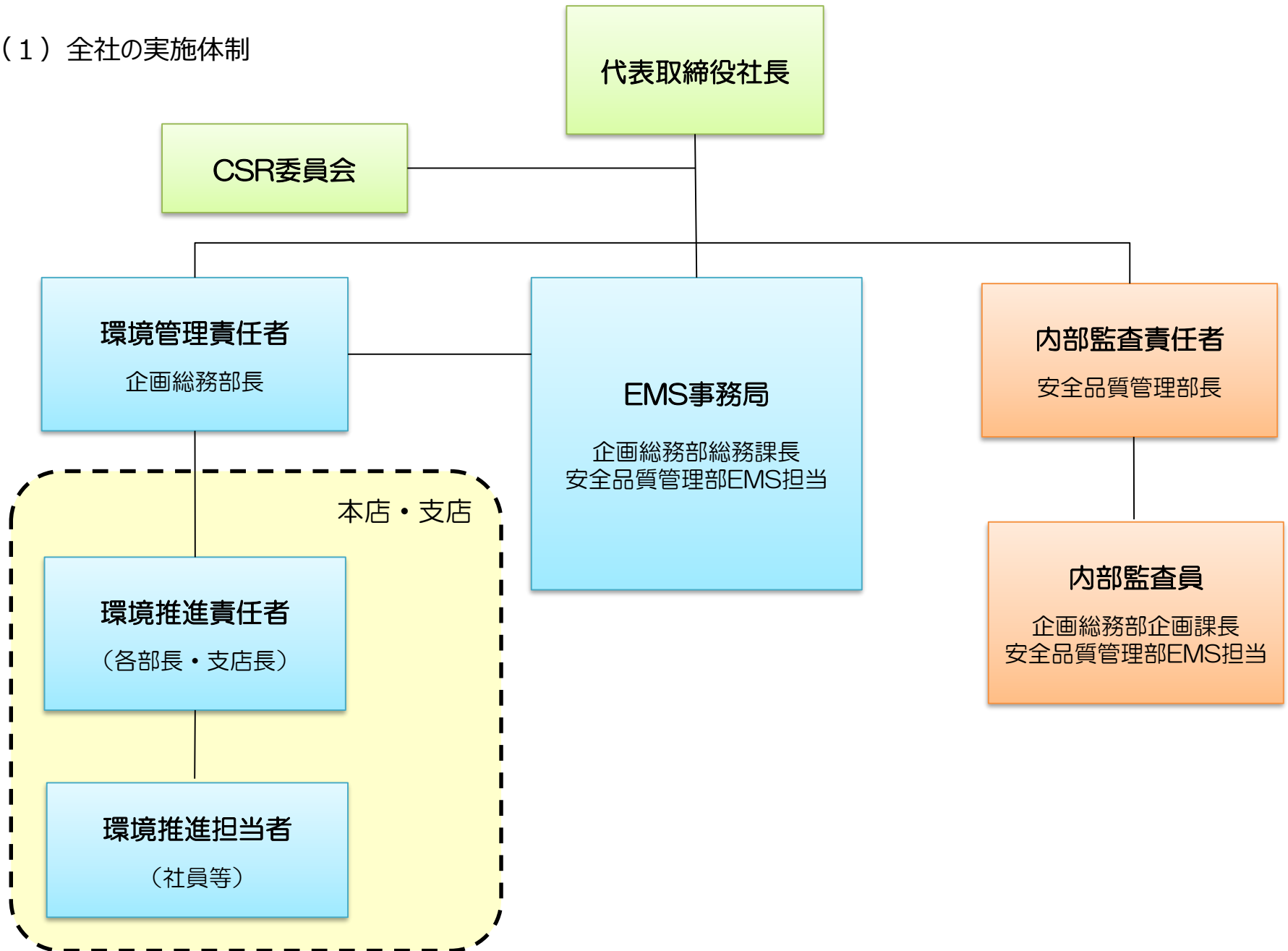
アイレック技建株式会社

代表取締役社長 飯田 敏昭



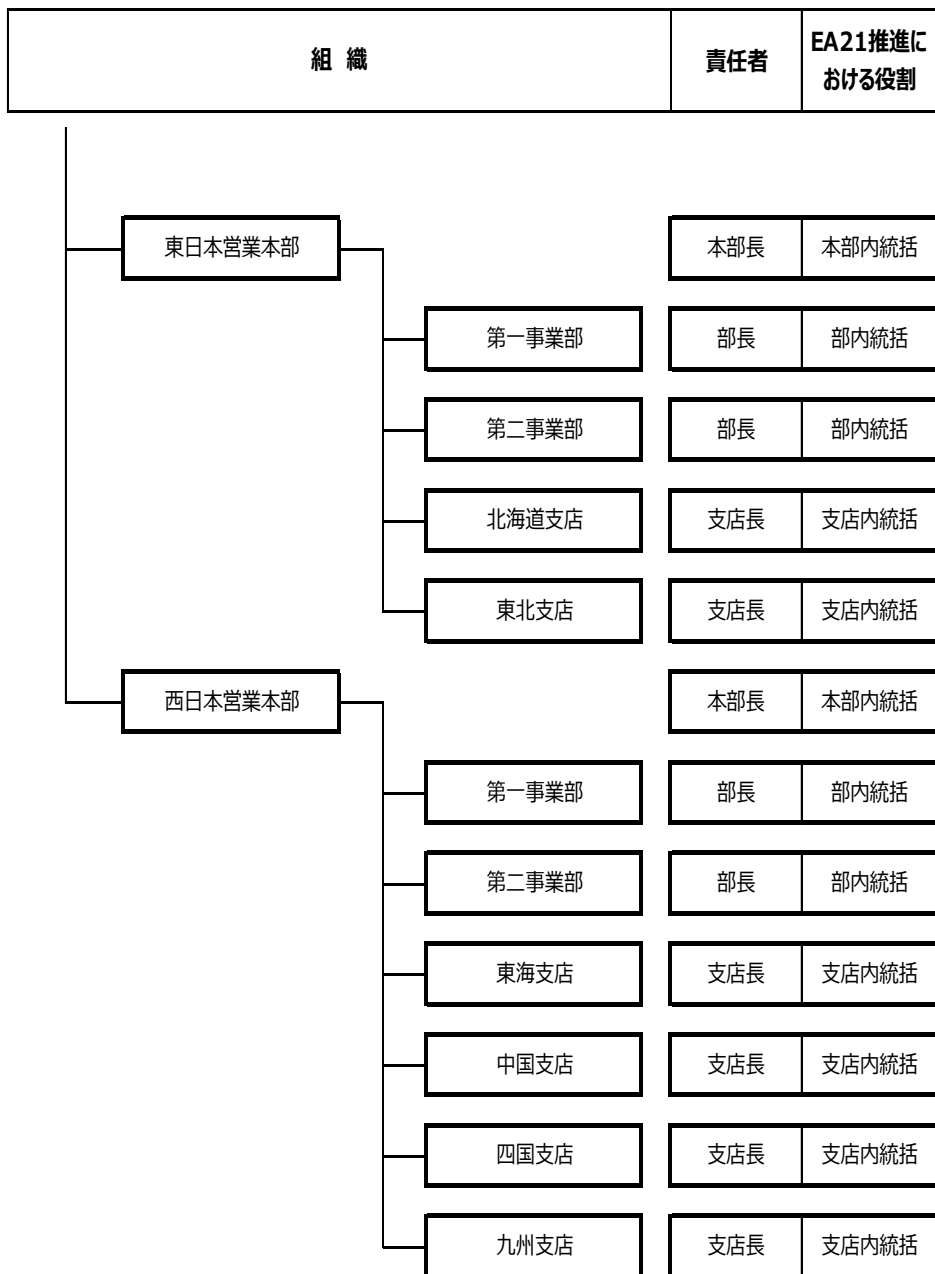
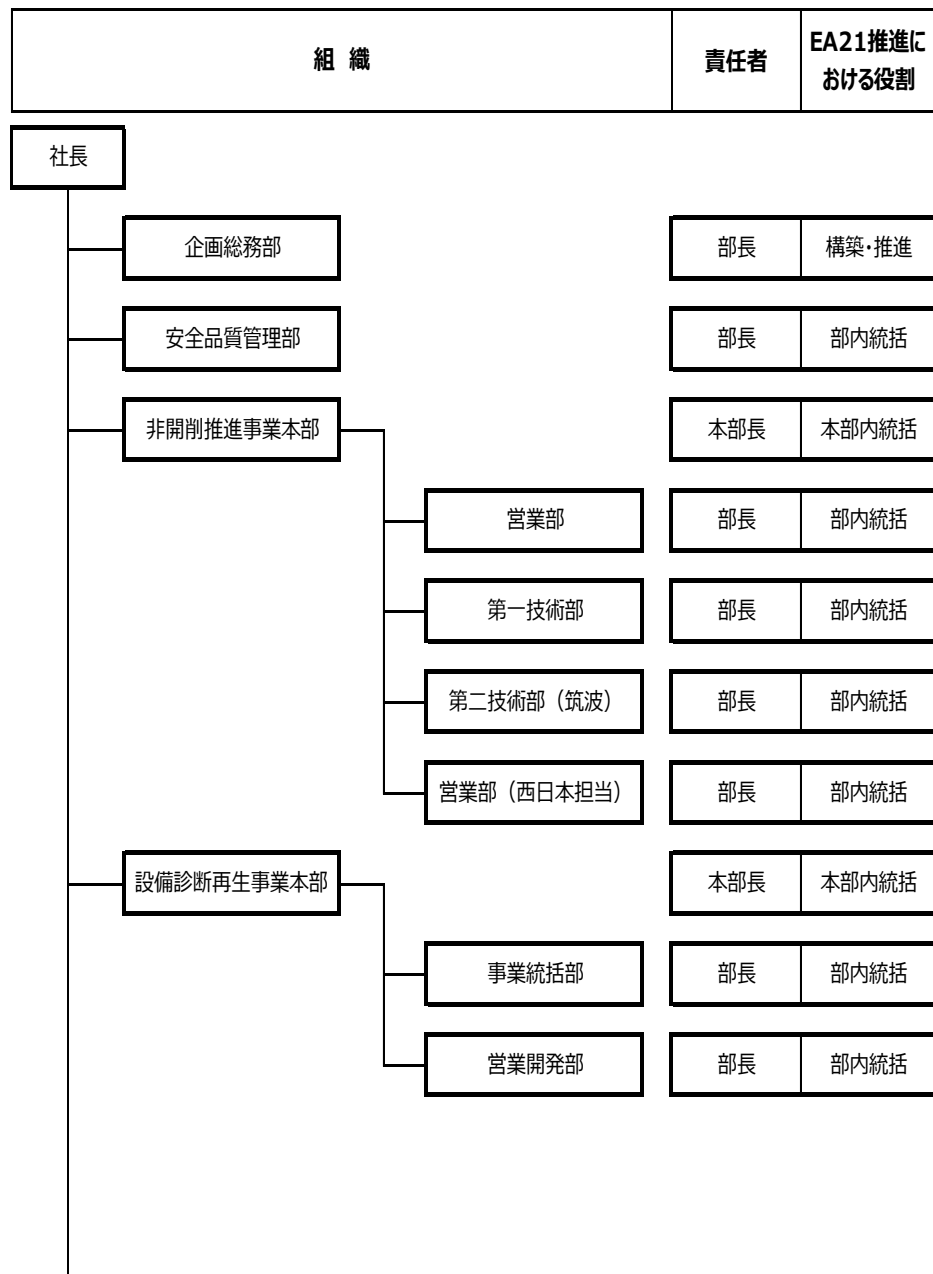
## 4. 実施体制

### (1) 全社の実施体制



| 組織      | 職位（役割・責任）   |
|---------|---|
| 代表取締役社長 | EMSの最高責任者   |
| CSR委員会  | 会議メンバー：社長、企画総務部長、各本部長、安全品質管理部長<br>（議長：企画総務部長（環境管理責任者））<br><b>【EMSに関する事項、進捗状況、成果を審議する組織】</b> |
| 内部監査責任者 | 安全品質管理部長<br><b>【内部監査に関わる計画、実施及び報告の責任者】</b>  |
| 内部監査員   | 企画総務部企画課長、安全品質管理部EMS担当<br><b>【内部監査を行う監査員】</b>   |
| 環境管理責任者 | 企画総務部長<br><b>【EMSの構築、推進をする責任者】</b>  |
| EMS事務局  | 企画総務部総務課長、安全品質管理部EMS担当<br><b>【全社におけるEMSの構築・推進】</b>  |
| 環境推進責任者 | 本店各部長、各支店長<br><b>【各組織におけるEMSの構築・推進及びEMS事務局に実施結果を報告する責任者】</b>                                |
| 環境推進担当者 | 本店、支店におけるEMS推進者<br><b>【環境推進責任者を補佐し、各組織におけるEMSの構築・推進】</b>                                    |
| 社員等     | 社員、契約社員、準社員、派遣社員<br><b>【EA21ルールに基づき運用】</b>  |

## (2) 各組織（部・支店）の実施体制





## 5. 環境経営目標

### (1) 2021年度環境経営目標

#### 全社取組目標

| NO | 項目                                  | 数値目標  | 具体的な取組   |
|----|-------------------------------------|---|--|
| 1  | 二酸化炭素排出量の削減                         | 2020年度比2%減                                    |  |
| 2  | 電気使用量の削減                            | 2020年度比1%減                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼、残業時等不要箇所の消灯徹底</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの推進</li> </ul>                 |
| 3  | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減                    | 2020年度比2%減                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの徹底、環境適合車両導入（リース更改時）</li> <li>・WEB会議の導入による移動の負担を減らす</li> </ul> |
| 4  | 事務用紙の削減                             | 2020年度比1%減                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のエコ印刷状況を把握する</li> <li>・電子データ化の推進</li> </ul>                        |
| 5  | 廃棄物処理法及び建設リサイクル法遵守                  | —   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェストの推進</li> <li>・建設リサイクルの推進</li> </ul>                          |
| 6  | エコ検定の取得促進                           | 毎年1名以上は増やす                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者の把握、共有<br/>(2021.3現在 23名)</li> </ul>                              |
| 7  | 「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加                | 前年より参加者、収穫量 増<br>(2020年度 20名参加<br>3,096 g 収穫) |  |
| 8  | CO2排出削減貢献量を、2030年までに自社排出量の100倍以上にする | エースモール：14000 t -CO2<br>エスパー：12000 t -CO2      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業績、売上UPによる貢献量を増やしていく</li> </ul>                                      |

## 組織別取組目標

| 組織名               | 取組目標  |
|-------------------|---|
| 非開削推進事業本部（本店）     | ・打合せ時の資料電子化<br>・紙の両面印刷 35% NUP印刷 10% 達成   |
| 設備診断再生事業本部        | 整理整頓の徹底”実施率90%以上”   |
| 東・第一事業部           | 化石燃料(ガソリン)使用量の削減(2020年度比 3%減)   |
| 東・第二事業部           | エスパー調査によるCO2削減貢献量4,000tを目指す   |
| 非推本・第二技術部         | ①「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加&収穫量対前年比10%増<br>②電気使用量の削減 対前年比▲1%  |
| 西日本営業本部（非推本営西 含む） | ・エコ印刷（両面、N-up）割合の増加（2020年度比+5%）<br>・一般廃棄物量（シュレッダー袋、SSBOX）の削減（2020年度比▲5%）  |
| 北海道支店             | ・現場を伴わない出張は、極力公共交通機関利用の促進。<br>・ECO運転の徹底によりガソリン使用量前年比▲2%   |
| 東北支店              | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減：2020年度比▲5%   |
| 東海支店              | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減：数値目標 対2018°△5%<br>（Withコロナ環境下で、2020°目標を継続する。）<br>①公共交通機関を極力活用する。（遠方は、公共交通機関+レンタカー）<br>②かもしれない運転、十分な車間距離確保により、安全運転&エコ運転を励行する。 |
| 中国支店              | エコ印刷に全員が知恵を出し、事務用紙使用量の削減を継続する。<br>対前年比 ▲5%を目標とする!!  |
| 四国支店              | 紙の使用量削減 対前年比▲5%   |
| 九州支店              | ガソリン使用の削減：前年度比2%  |
| 企画総務部             | 在宅勤務実施率：一人一月あたり20%以上  |
| 安全品質管理部           | リモート研修等実施によるCO2排出削減に貢献する（目標：▲400kg-CO2）   |

## « アイレック2030 »



### 低炭素化している未来

- 私たちは社会のCO2排出削減貢献量を自社排出量の100倍以上とします



### 地球に優しい未来

- 私たちは『掘らない、壊さない、環境に優しいを追求する社会基盤設備のトータルソリューション事業』を展開します



### 社会と共生する未来

- 私たちは、地域社会との共存を図り、社会貢献活動に協力します

# « Road to 2030 »

2020 ----- 2025 -----> 2030

## 低炭素化している未来

・私たちは社会のCO2排出削減貢献量を自社排出量の100倍以上とします

**算定式の活用**  
数値目標を策定、  
取組実施

## 地球に優しい未来

・私たちは、『掘らない、壊さない、環境に優しいを追求する社会基盤設備のトータルソリューション事業』を展開します

**本業に特化した目標を策定し、取組実施**

・全員が参加できる目標づくり  
・仕事をしながら、環境活動に参加できる目標を策定する

## 社会と共生する未来

・私たちは、地域社会との共存を図り、社会貢献活動に協力します

**地域貢献活動に協力**

・企画総務部、EMS事務局を中心に実施

※  
中期目標・見直し

### ※ 2020年度～2025年度中期目標

- ・ 2025年までにCO2自社排出量を2020年度比2%減を目指す。
- ・ 売上目標達成によるCO2削減貢献量アップを目指す。

## 6. 環境負荷の実績（過去3年間）

| 環境への負荷                     |             | 単位                 | 2021年度<br>(4～3月) | 2020年度<br>(4～3月) | 2019年度<br>(4～3月) |       |
|----------------------------|-------------|--------------------|------------------|------------------|------------------|-------|
| ① 温室効果ガス排出量                | 二酸化炭素（注1）   | Kg-CO <sub>2</sub> | 281515           | 287808           | 297960           |       |
| ② 廃棄物排出量<br>及び<br>廃棄物最終処分量 | 一般廃棄物       | 紙資源（シュレッダー・SSBOX）  | t                | 3.41             | 4.32             | 5.67  |
|                            |             | 紙以外                | t                | 2.96             | 3.21             | 4.14  |
|                            | 産業廃棄物       | 汚泥                 | t                | 82.57            | 109.14           | 87.25 |
|                            |             | 廃プラ                | t                | 23.04            | 47.80            | 30.67 |
|                            |             | 廃プラ（石綿含有）          | t                | 0.00             | 0.00             | 0.00  |
|                            |             | 木くず                | t                | 3.46             | 0.00             | 21.89 |
|                            |             | 鉄くず                | t                | 0.00             | 0.00             | 0.00  |
|                            |             | 金属くず               | t                | 0.00             | 5.65             | 2.09  |
|                            |             | 紙くず                | t                | 0.00             | 0.00             | 0.05  |
|                            |             | ガラス                | t                | 0.00             | 0.00             | 1.90  |
|                            |             | グラスウール             | t                | 0.00             | 0.00             | 0.00  |
|                            |             | 石膏ボード              | t                | 0.00             | 0.00             | 0.25  |
|                            |             | コンガラ               | t                | 0.00             | 3.16             | 3.63  |
|                            |             | Asコン               | t                | 0.00             | 10.13            | 0.00  |
|                            |             | コンクリート破片           | t                | 34.72            | 0.00             | 7.92  |
|                            |             | がれき（石綿含有）          | t                | 0.00             | 0.00             | 30.84 |
|                            |             | 廃電気機械器具            | t                | 1.00             | 0.00             | 0.87  |
|                            |             | その他混合廃棄物(コンクリート)   | t                | 0.00             | 1.46             | 0.09  |
|                            |             | その他混合廃棄物(廃プラ・金属くず) | t                | 0.03             | 0.00             | 0.00  |
|                            |             | 安定型混合廃棄物           | t                | 0.19             | 0.00             | 4.32  |
|                            |             | 建設混合廃棄物            | t                | 1.50             | 0.00             | 0.00  |
|                            |             | 管理型混合廃棄物           | t                | 6.12             | 0.00             | 5.08  |
|                            | 廃油          | t                  | 2.39             | 0.00             | 0.00             |       |
|                            | 水銀使用製品（蛍光灯） | t                  | 0.00             | 0.00             | 0.00             |       |
|                            | 廃石綿（飛散性）    | t                  | 0.00             | 0.00             | 8.71             |       |

（注1） CO<sub>2</sub>排出係数：2020年度電力係数代替値0.488kg-CO<sub>2</sub>/kwhにより算出

| 環境への負荷                    |                 | 単位                | 2021年度<br>(4~3月) | 2020年度<br>(4~3月) | 2019年度<br>(4~3月) |
|---------------------------|-----------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| ③-1 総排水量                  | 下水道             | m <sup>3</sup>    | 991(計量可能分)       | 991(計量可能分)       | 1057(計量可能分)      |
| ③-2 水使用量                  | 上水道             | m <sup>3</sup>    | 991(同上)          | 991(同上)          | 1057(同上)         |
|                           | 地下水             | m <sup>3</sup>    | —                | —                | —                |
| ④ 化学物質使用量                 | (キシレン、トルエン)     | k g               | 0                | 0                | 0                |
| ⑤ エネルギー使用量                | 購入電力(新エネルギー除く)  | kwh               | 397836           | 407470           | 388034           |
|                           | 化石燃料            | ℓ                 | 37645            | 38299            | 46766            |
| ⑥ 資源使用量                   | 事務用紙            | t                 | 2.52             | 3.23             | 4.43             |
|                           | プリンタートナー        | 本                 | 51               | 67               | 90               |
|                           | 作動油             | ℓ                 | 3240             | 6400             | 16000            |
|                           | ギヤオイル           | ℓ                 | 520              | 640              | 740              |
|                           | 酸素              | ℓ                 | 0                | 8                | 20               |
|                           | 塗料(水性塗料)        | k g               | 705              | 495              | 265              |
|                           | クーラント           | ℓ                 | 400              | 700              | 400              |
| ⑦ 主要環境技術(注2)<br>(CO2削減効果) | 非開削推進工法(エースモール) | t-CO <sub>2</sub> | △12700           | △13700           | △12700           |
|                           | 非破壊探査(エスパー)     | t-CO <sub>2</sub> | △7900            | △10900           | △10600           |

(注2) 従来の算定よりも正確に把握するために、CO2原単位の算定を2018年度より変更。

- ・削減量算定方法 引元元：LCIデータベース IDEA version 2.2  
 国立 研究開発法人 産業技術総合研究所  
 安全科学研究部門 社会とLCA 研究グループ一般社団法人 産業環境管理協会

※IDEA… IDEAは(一社)産業環境管理協会よりリリースされているデータベースである。  
 弊社で使用していた3EIDはマクロな評価をするのには向いているが、  
 算定精度が低かった為、3EIDと比べて登録されている原単位の種類が多い  
 IDEAを使用して 算定対象に合わせた正確な算定結果を得ることにした。

- ・4事業部のうち「非開削推進事業」と「非開削探査事業」の2事業部を掲載。  
 「点検リニューアル事業」と「環境計測事業」については順次、算定ロジックを見直したのち掲載予定。

# 7. 環境活動の取組み（2021年4月～2022年3月）と評価 及び 次年度の取組み

## （1）二酸化炭素排出量（CO2）の削減

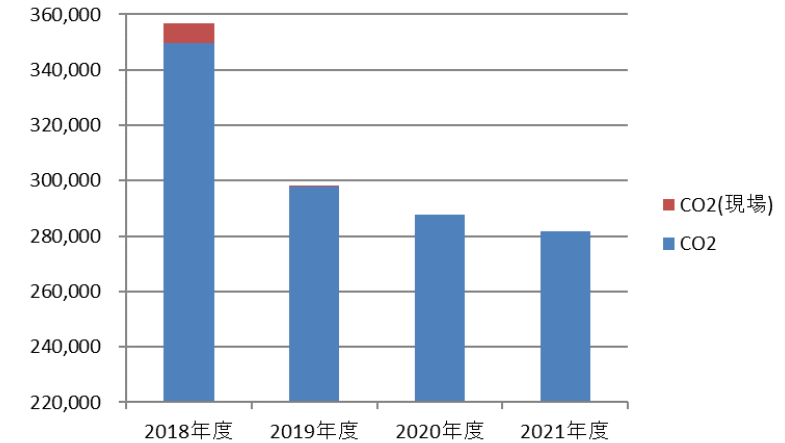
**2021年度目標：前年度（2020）実績対比 ▲2% ⇒ 対前年度比 ▲2% 目標達成**

(kg-CO2)

|         | 2018年度  | 2019年度  | 2020年度  | 2021年度  |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| CO2     | 349,679 | 297,781 | 287,808 | 281,515 |
| CO2(現場) | 7,087   | 179     | 0       | 0       |
| 合計      | 356,766 | 297,960 | 287,808 | 281,515 |

※2018年度は 沖縄 米軍工事にて使用した軽油（2,747 l）含む。

(kg-CO2)



### 《二酸化炭素排出量内訳》

|      |              | 単位  | 2018年度  | 2019年度  | 2020年度  | 2021年度  |
|------|--------------|-----|---------|---------|---------|---------|
| 購入電力 |              | kWh | 434,154 | 388,034 | 407,470 | 397,836 |
| 化石燃料 | 灯油           | L   | 4,423   | 0       | 40      | 0       |
|      | 液化石油ガス (LPG) | kg  | 48      | 5       | 0       | 0       |
|      | ガソリン         | L   | 45,403  | 46,159  | 37,786  | 37,510  |
|      | ガソリン(現場)     | L   | 0       | 77      | 0       | 0       |
|      | 軽油           | L   | 8,264   | 510     | 465     | 135     |
|      | 軽油 (現場)      | L   | 2,747   | 0       | 0       | 0       |

※ガソリン...社用車+レンタカー+自家用車使用量

#### 【要因】

・リモートワークの推進により、事務所内の電力使用量が減少となったため。

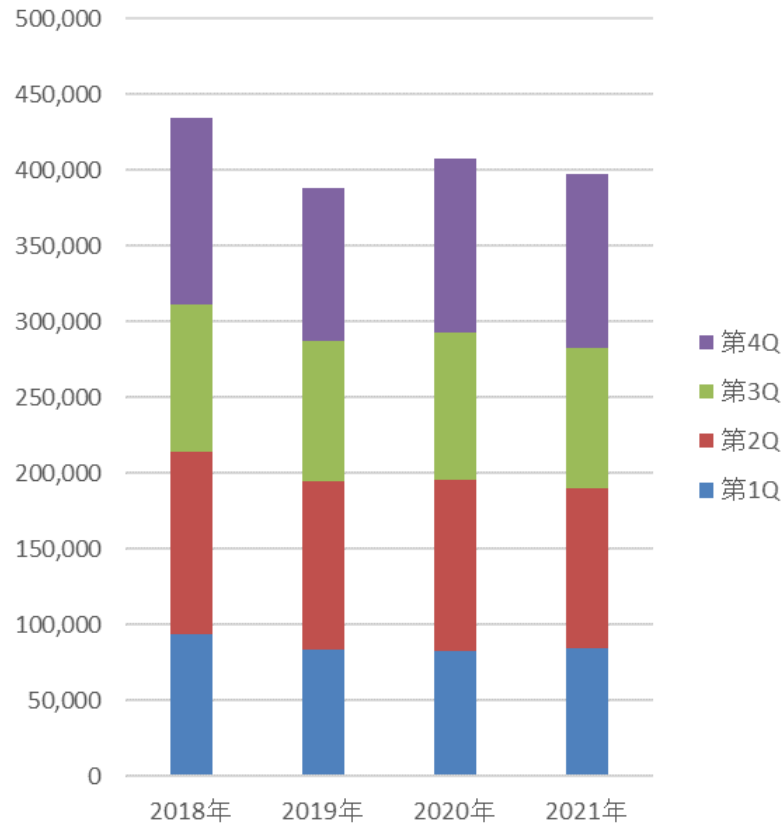
## (2) 電気使用量の削減

**2021年度目標：前年度(2020)実績対比 ▲1% ⇒ 対前年度比 ▲2% 目標達成**

(kWh)

|     | 2018年   | 2019年   | 2020年   | 2021年   |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 第1Q | 93,939  | 83,336  | 82,838  | 83,977  |
| 第2Q | 120,160 | 111,607 | 112,896 | 105,678 |
| 第3Q | 97,458  | 91,813  | 96,621  | 93,308  |
| 第4Q | 122,597 | 101,278 | 115,115 | 114,873 |
| 合計  | 434,154 | 388,034 | 407,470 | 397,836 |

(kWh)



### 「削減に向けた取組み」

【室内LED照明】



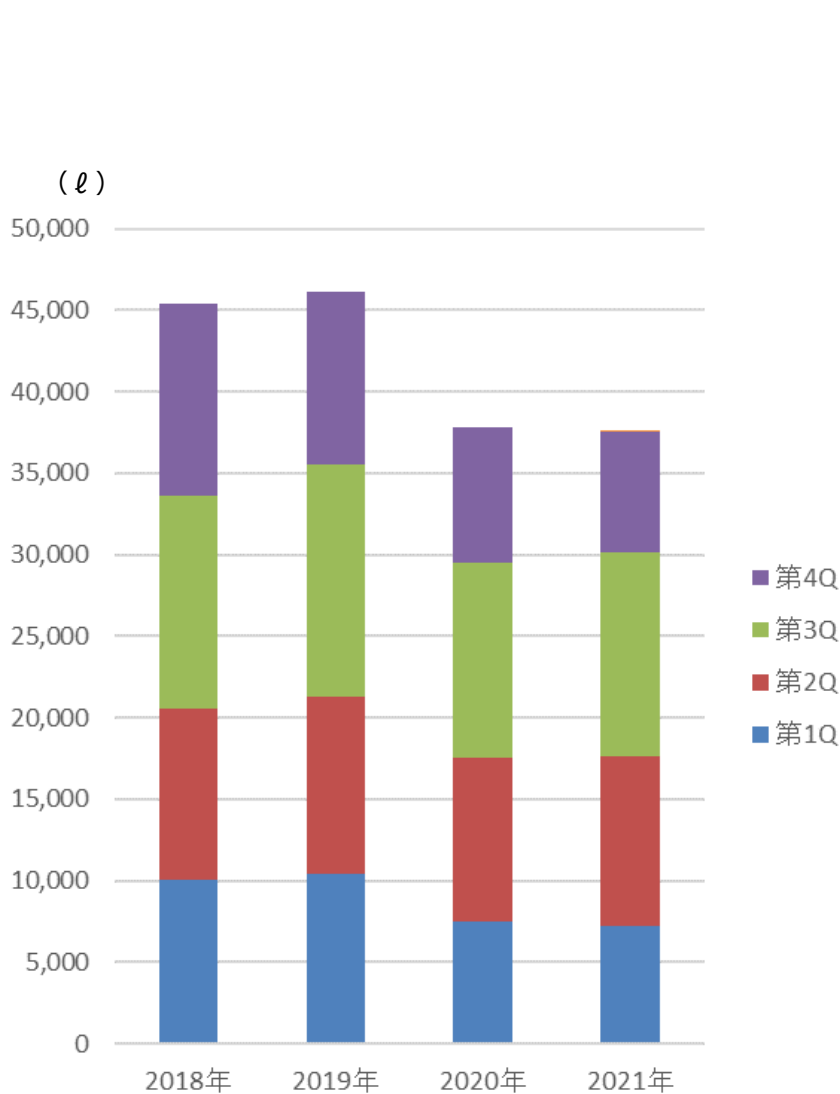
【不要時の消灯徹底】





### (3) ガソリン使用量の削減

**2021年度目標：前年度（2020）実績対比 ▲2%** ⇒ 対前年度比 ▲1% 目標未達成



(ℓ)

|     | 2018年  | 2019年  | 2020年  | 2021年  |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 第1Q | 10,032 | 10,440 | 7,507  | 7,225  |
| 第2Q | 10,516 | 10,848 | 10,080 | 10,424 |
| 第3Q | 13,037 | 14,210 | 11,926 | 12,497 |
| 第4Q | 11,818 | 10,661 | 8,272  | 7,363  |
| 合計  | 45,403 | 46,159 | 37,786 | 37,509 |

#### 「削減に向けた取組み」

- ①カーナビ最短ルートの設定
- ②エコドライブの推奨
- ③社用車の積載重量軽量化
- ④環境適合車導入
- ⑤ドライブドクターの導入



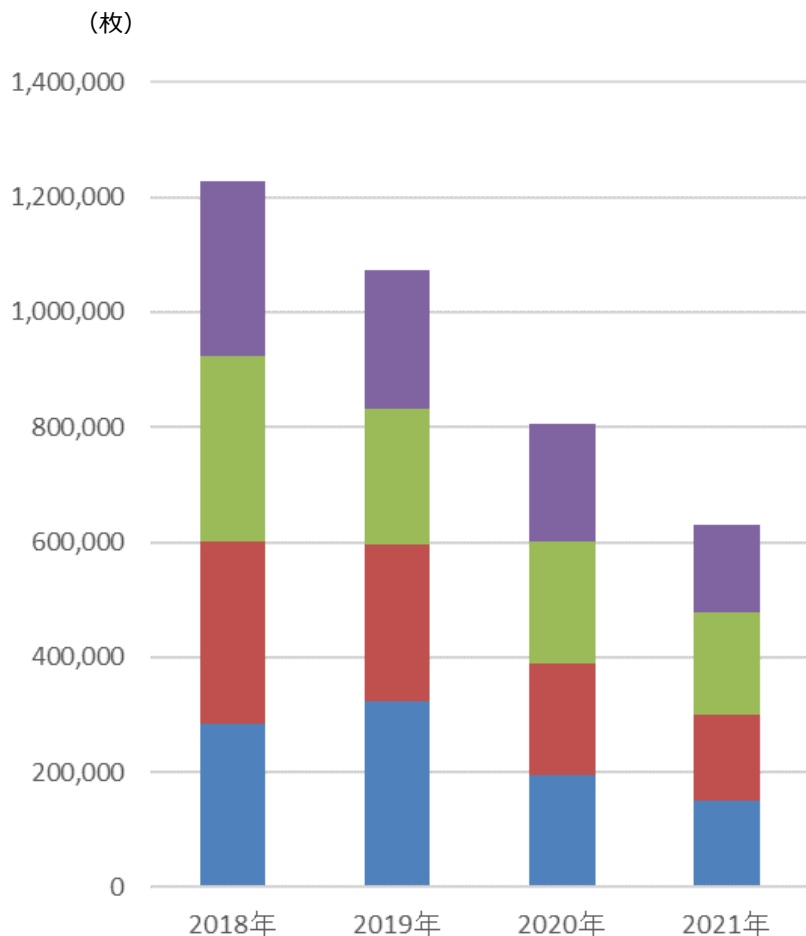
#### 【要因】

遠方への現場移動や稼働増による影響があったが、前年度と同程度の使用量となった。  
引き続き、エコドライブ推奨と環境に配慮した車両への更改を実施していく。

## (4) 事務用紙使用量の削減

**2021年度目標：前年度（2020）実績対比 ▲2%** ⇒ 対前年度比 ▲22% 目標達成

(枚)



|     | 2018年     | 2019年     | 2020年   | 2021年   |
|-----|-----------|-----------|---------|---------|
| 第1Q | 285,000   | 323,000   | 195,252 | 151,240 |
| 第2Q | 317,500   | 273,000   | 195,134 | 149,314 |
| 第3Q | 321,250   | 235,323   | 210,109 | 178,810 |
| 第4Q | 303,000   | 241,790   | 206,351 | 150,650 |
| 合計  | 1,226,750 | 1,073,113 | 806,846 | 630,014 |

※2017年度～2019年度第2Q カウネット購入枚数

※2019年度第3Q～ 複合機による使用実績枚数へ変更

### 「削減に向けた取組み」

- ①集約印刷（2up、4up）、両面印刷の励行
- ②電子決裁の導入
- ③ICTの活用…全国拠点間のTV会議の実施 等
- ④会議資料等はプロジェクター又はモニター使用の励行
- ⑤事務用紙使用枚数の集計データを関係者に送付し  
毎月の使用実績の振り返りに活用

### 【要因】

- ・ 昨年度に引き続き、在宅勤務やWEB会議を実施する機会が多くなり、モニターの活用や電子決裁等を使用していたため。
- ・ エコ印刷(両面・NUP印刷)未実施者が月平均17名(2020年度)から15名(2021年度)と▲10%になったことから社員一人ひとりの削減への取組みと意識の向上がうかがえるため。

## ◆事業系一般廃棄物

## 《削減に向けた取組み》

- ・自治体ルールにより分別処理
- ・SSBOXによる紙資源回収・リサイクルの実施



廃棄事務用紙計量・回収箱  
(SSBOX)

|             | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|
| シュレッダー      | 0.22   | 0.16   | 0.07   | 0.06   |
| SSBOX       | 6.01   | 5.51   | 4.25   | 3.36   |
| 紙以外（判明3ビル分） | 4.23   | 4.14   | 3.21   | 2.96   |
| 合計          | 10.46  | 9.81   | 7.53   | 6.38   |

(t)

## ◆産業廃棄物

## 《削減に向けた取組み》

- ・関係法令の遵守
- ・作動油の有償譲渡及び再生利用による廃油量削減
- ・電子マニフェストの活用による適正処理

|          | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 産業廃棄物排出量 | 295.32 | 205.56 | 177.34 | 152.63 |
| 最終処分量    | 53.42  | 95.96  | 109.14 | 82.57  |

(t)

## 《取組み例》

2021年12月～2022年3月：現場用ヘルメット更改時に旧ヘルメット(257個)のリサイクルを実施。  
JHMA(一社)ヘルメット工業会に登録されている会社へ回収を依頼し、廃棄物化低減に努めた。



## (6) 水使用量の削減

**2021年度目標：実績把握**

### 「削減の取組み」

- ・節水奨励、節水シール貼付
- ・当社単独の水道使用量を把握できる拠点が少ないが、全拠点において節水意識の向上

(㎡)

|                        | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 水使用量<br>(本店、西日本、非推・第二) | 858    | 1057   | 991    | 991    |

※～2018年度 本店と西日本のみ把握。  
つくば工場移転により2019年度分から非推本・第二技術部の使用量を把握。

## (7) 化学物質使用量の削減

**2021年度目標：実績把握**

- 使用化学物質をSDSで確認⇒
- ①作動油・・・非該当
  - ②クーラント（エチレングリコール）・・・非該当
  - ③塗料及びシンナー・・・2014.8月以降水性塗料に切り替え済

現在は該当する項目はないが、継続して管理する

## (8) 事務用品のグリーン購入比率の向上

**2021年度目標：実績把握**

### 「削減の取組み」

- ・事務用紙は概ね環境配慮型を使用（古紙及び植林木パルプ等配合）
- ・グリーン購入については、コスト増の傾向を考慮し、可能な範囲で環境ラベル認定事務用品等の購入を推進する
- ・グリーン購入比率の継続管理を実施

|          | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| グリーン購入比率 | 58%    | 56%    | 45%    | 41%    |

## (9) 本業（4事業）における環境負荷低減技術

「非開削推進事業」「非破壊探査事業」「点検リニューアル事業」及び「環境計測事業」の各事業の推進により、温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）及び建設廃棄物等の環境負荷低減を図っている



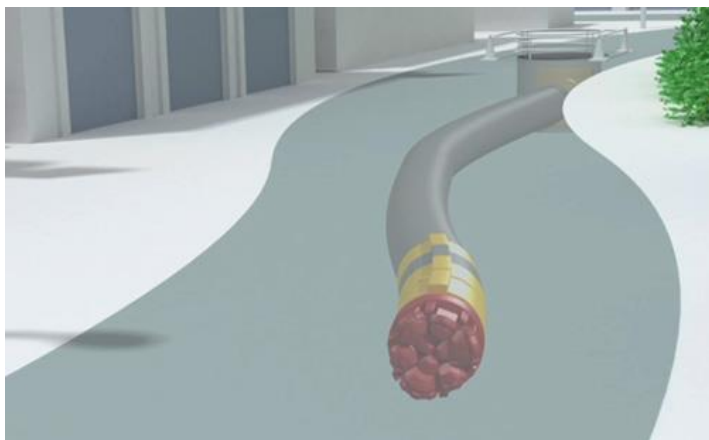
## ◆非開削推進事業

道路を掘削することなく社会基盤設備を構築します

【小口径推進工法 エースモール】



【改築推進工法 リバースエース】



### 《特長》

- ・玉石、岩盤を含む硬土質地盤に適用できます
- ・ユニークな位置検知方式と精密な方向制御機能により、長距離・曲線推進を実現します
- ・小規模立坑からの発進、到達が可能です

《2021年度CO2想定削減量》 12700 t -CO2

削減量算定方法 引用元:LCIデータベース IDEA version 2.2

国立 研究開発法人 産業技術総合研究所

安全科学研究部門 社会とLCA 研究グループ一般社団法人 産業環境管理協会

### 《サービス内容》

電気通信管路建設工事、上下水道建設工事、農業用水建設工事、電力管建設工事、ガス管建設工事、信号線建設工事、CATV管建設工事、熱供給管建設工事

## ◆非破壊探査事業

地面の中の埋設物や空洞を開削することなく調査をします



《特長》

電磁波法を用いることにより探査対象物の材質に影響されず、非開削での地下埋設物管調査、路面下空洞調査、遺跡探査等が可能

《2021年度CO2想定削減量》 7900 t -CO2

削減量算定方法 引用元:

LCIデータベース IDEA version 2.2

国立 研究開発法人 産業技術総合研究所

安全科学研究部門 社会とLCA 研究グループ 一般社団法人 産業環境管理協会



【iEsper】

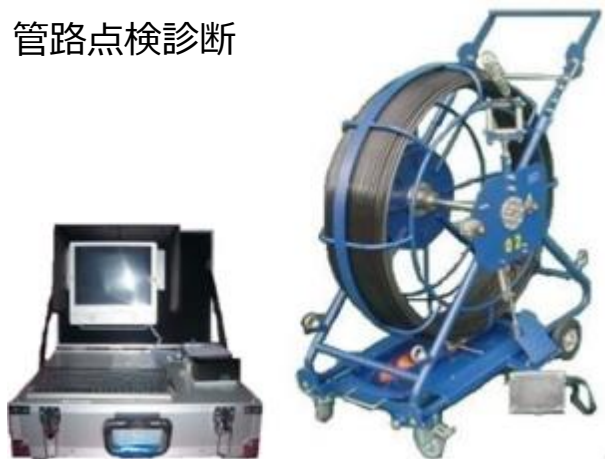


【ロードesper 3D】

## ◆点検リニューアル事業

安全で効率的な点検を実現し、既設設備を有効活用する非開削補修方法を提供します

### (A) 管路点検診断



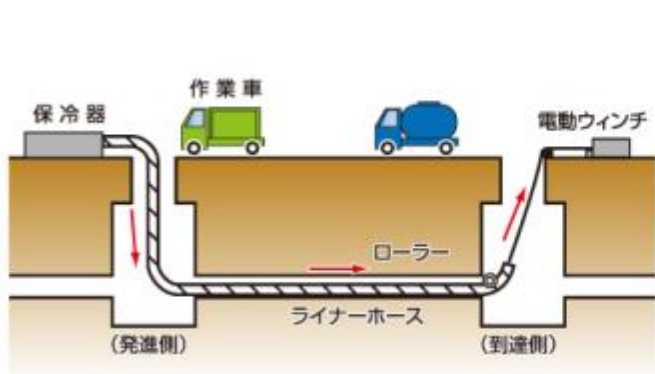
【小口径カラーハイビジョンスコープ】

《特長》

既設管路の有効活用を目的として、通信ケーブル多条布設を判断するための管路点検装置

### (B) 管路非開削補修

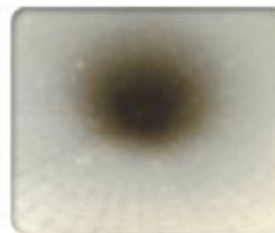
#### ①空管路補修技術



【管路ライニング技術】



ライニング前



ライニング後

《特長》

「アイライナー工法（厚膜タイプ）」は熱硬化性樹脂を含浸させたホースを管路内へ引込挿入し、既設管路内に滑らか新しい管路を短時間で形成し、老朽・弱体管路を更生します



## ②ケーブル收容管補修技術

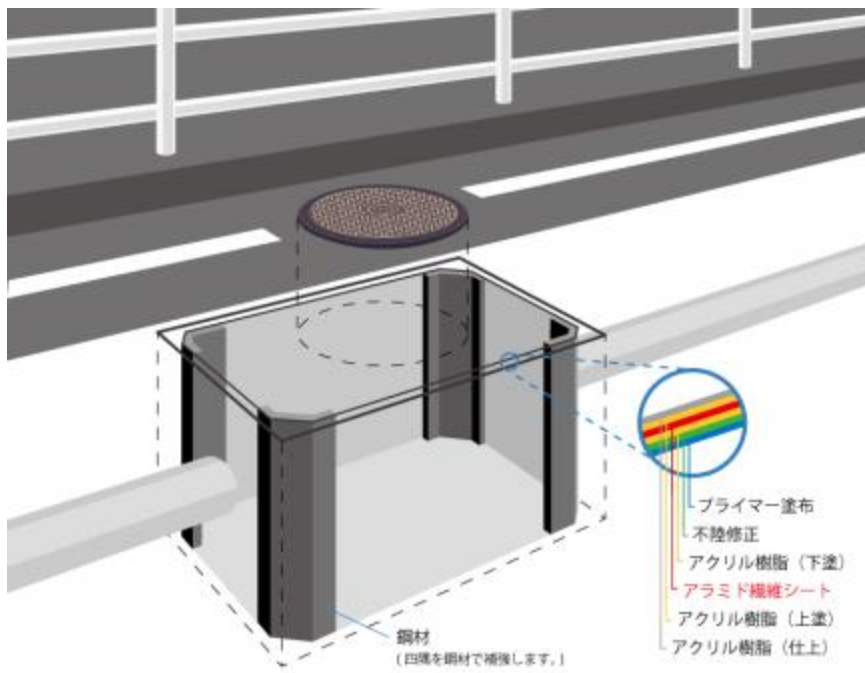


推進装置

### 《特長》

ケーブル收容管補修技術（PIT工法）は、ケーブルを收容したまま、ケーブルに影響を与えずに不良管路を再生し、新たなケーブル收容スペースを創出します

## (C) 構造物補修・補強（MH・HH補強）



### 《特長》

アイマツ工法は路面荷重の改訂（T-25）により、旧規格で施工された道路下コンクリート構造物の耐力不足を非開削により補強する工法で内面にアラミド繊維を貼付け、引張耐力を増加させます

- ◆老朽マンホールを再建可能
- ◆ケーブルが多い狭隘な状況でも施工可能
- ◆短期間で補強可能（約4～6日）
- ◆撤去、再構築と比較して経済的

## ◆環境計測事業

環境負荷の軽減を図り、クリーンな環境を技術で守ります。



【トンネル用防水型LED照明】

### 《特長》

高湿度などの厳しい環境下での使用に耐えるLED照明  
省エネに加え、長寿命のため玉交換の手間が大幅にカットできます

- ◆光を拡散させ、広範囲に均一な明るさで照らすことが可能
- ◆従来型40ワット蛍光灯と同等の明るさを実現
- ◆消費電力は蛍光灯の半分以下、寿命は4万時間
- ◆防塵防水性能はIP67で、厳しい環境下での使用にも耐久性が高い



# (10) 環境経営活動取組目標に対する評価

| NO | 項目                                  | 数値目標  | 具体的な取組   | 評価 | 取組結果について  |
|----|-------------------------------------|---|--|----|---|
| 1  | 二酸化炭素排出量の削減                         | 2020年度比2%減                                    |  | ○  | 2020年度 287,808(kg-CO2)<br>2021年度 281,515(kg-CO2)<br>対前年度比 2%減 |
| 2  | 電気使用量の削減                            | 2020年度比1%減                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼、残業時等不要箇所の消灯徹底</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの推進</li> </ul>                 | ○  | 2020年度 407,470(kWh)<br>2021年度 397,836(kWh)<br>対前年度比 2%減       |
| 3  | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減                    | 2020年度比2%減                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの徹底、環境適合車両導入（リース更改時）</li> <li>・WEB会議の導入による移動の負担を減らす</li> </ul> | △  | 2020年度 37,786 ℓ<br>2021年度 37,509 ℓ<br>対前年度比 1%減               |
| 4  | 事務用紙の削減                             | 2020年度比1%減                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のエコ印刷状況を把握する</li> <li>・電子データ化の推進</li> </ul>                        | ○  | 2020年度 806,846枚<br>2021年度 630,014枚<br>対前年度比 22%減              |
| 5  | 廃棄物処理法及び建設リサイクル法遵守                  | —   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェストの推進</li> <li>・建設リサイクルの推進</li> </ul>                          | ○  | 法令に則り、適切に実施している。  |
| 6  | エコ検定の取得促進                           | 毎年1名以上は増やす                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者の把握、共有<br/>(2021.3現在 23名)</li> </ul>                              | ○  | 2022年3月15日時点 27名  |
| 7  | 「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加                | 前年より参加者、収穫量 増<br>(2020年度 20名参加<br>3,096 g 収穫) |  | △  | NTT-G帰属変更により社内全体では参加できなかったが、非推本・第二技術部のみ有志で実施、収穫した。            |
| 8  | CO2排出削減貢献量を、2030年までに自社排出量の100倍以上にする | エースモール：14000 t-CO2<br>エスパー：12000 t-CO2        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業績、売上UPによる貢献量を増やしていく</li> </ul>                                      | △  | エースモール 12700(t-CO2)<br>エスパー 7900(t-CO2)                       |

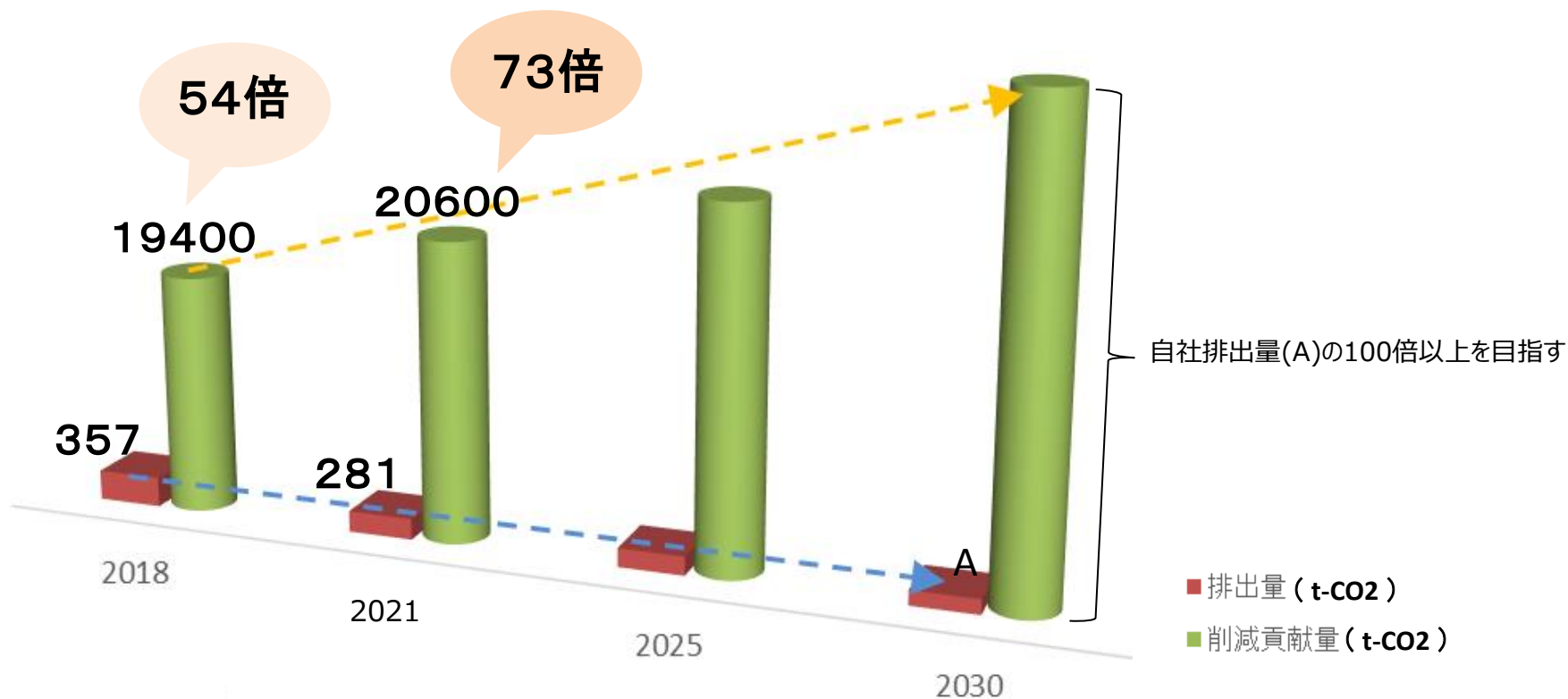
| (凡例)     | 評価欄のマーク       |
|----------|---------------|
| ◎ 十分に達成  | (125%以上の達成率)  |
| ○ 概ね達成   | (概ね100%の達成率)  |
| △ 未達成    | (75～100%の達成率) |
| × 大幅に未達成 | (75%未満の達成率)   |

| 組織名               | 取組目標  | 評価 | 取組結果について  |
|-------------------|---|----|---|
| 非開削推進事業本部（本店）     | ・打合せ時の資料電子化<br>・紙の両面印刷 35% NUP印刷 10% 達成   | △  | ・定例打合せでのモニター活用率100% 達成。<br>・両面率：30%（目標35%、未達成）<br>・Nアップ率：8%（目標10%、未達成）<br>事務用紙使用量の削減については、削減率▲17.5%と大幅に削減できた。   |
| 設備診断再生事業本部        | 整理整頓の徹底“実施率90%以上”   | △  | 平均実施率 73%だった。<br>書庫の整理整頓が完了したので、各自定めた場所を活用し、継続して整理整頓を実施する。  |
| 東・第一事業部           | 化石燃料(ガソリン)使用量の削減(2020年度比 3%減)   | ×  | 2021年度比 8.7%増<br>・社有車で遠距離での現場調査等で使用（新潟・長野等）により増加した。   |
| 東・第二事業部           | エスパ-調査によるCO2削減貢献量4,000tを目指す   | ×  | CO2削減量 1,254 t 目標 4,000 t に対して31%となった。<br>・NTT市場が減少する中、様々な営業関連施策に取り組み、埋設物探査の一般市場の受注拡大を目指したが、目標を達成することが出来なかった。   |
| 非推本・第二技術部         | ①「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加&収穫量対前年比10%増<br>②電気使用量の削減 対前年比▲1%  | ○  | ①収穫量 2021年度 1.5kg 2020年度 1.3kg 前年度対比 15%増<br>②電気使用量 対前年度比 香取台 ▲0.2%、島名 ▲4.2%、合計 ▲1.9%<br>2021年度 香取台 85,407kwh、島名 63,538kwh、合計 148,945kwh<br>2020年度 香取台 85,861kwh、島名 66,309kwh、合計 151,861kwh             |
| 西日本営業本部（非推本営西 含む） | ・エコ印刷（両面、N-up）割合の増加（2020年度比+5%）<br>・一般廃棄物量（シュレッダー-袋、SSBOX）の削減（2020年度比▲5%）   | △  | ・エコ印刷（両面、N-up）割合の増加（前年度+5%）<br>目標：36.0%、結果：35.2%、達成率：97.8%（△未達成）<br>・一般廃棄物（シュレッダー）の減少（前年度-5%）<br>目標：70.5kg、結果：55.0kg、達成率：122.0%（○概ね達成）<br>・一般廃棄物（SSBOX）の減少（前年度-5%）<br>目標：728kg、結果：729kg、達成率：99.9%（△未達成） |
| 北海道支店             | ・現場を伴わない出張は、極力公共交通機関利用の促進。<br>・ECO運転の徹底によりガソリン使用量前年比▲2%   | △  | ガソリン使用量については、101%となっており目標未達成。<br>また、公共交通機関利用についても、利用が不十分であった。   |
| 東北支店              | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減：2020年度比▲5%   | ◎  | 2020年度：4406.74ℓ⇒2021年度：4144.08ℓ 94.04%（▲5.96%）<br>・支店内全社員が環境活動に関心を持ち意識的に取り組んだ結果、目標を達成した。  |
| 東海支店              | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減：数値目標 対2018年度▲5%<br>（Withコロナ環境下で、2020年度目標を継続する。）<br>①公共交通機関を極力活用する。（遠方は、公共交通機関+レンタカー）<br>②かもしれない運転、十分な車間距離確保により、安全運転&エコ運転を励行する。 | △  | 2018年度 1164ℓに対し、2021年度 1121ℓ。 ▲4%（▲43ℓ）<br>・現場を伴わない打合せ等は公共交通機関の使用を徹底した。<br>・高速道路を使用する場合、経済速度、一定速度運転等、運転方法も心掛けるようにした。  |
| 中国支店              | エコ印刷に全員が知恵を出し、事務用紙使用量の削減を継続する。<br>対前年比 ▲5%を目標とする!!  | △  | 2020年度比 ▲5%の目標に対し、結果は▲2.1%だった。<br>・目標は達成できなかったが、人員が5月より1名増となっており、一人当たりの使用枚数は、2020年度 5767枚/人⇒2021年度 4840枚/人、削減率▲16%だった。  |
| 四国支店              | 紙の使用量削減 対前年比▲5%   | ○  | 2020年度比 ▲19.8%<br>・両面印刷、報告書等の電子化を行い目標を達成した。   |
| 九州支店              | ガソリン使用の削減：前年度比2%  | ○  | 2020年度4065.66ℓ⇒2021年度3723.89ℓで、削減率▲8.4%。目標を達成した。  |
| 企画総務部             | 在宅勤務実施率：一人一月あたり20%以上  | ×  | 在宅勤務実施率 目標20%に対し、実績は11%だった。<br>働き方改善、紙文化の払拭などが進まなかった。20%達成者は3名のみ。   |
| 安全品質管理部           | リモート研修等実施によるCO2排出削減に貢献する（目標：▲400kg-CO2）   | ◎  | リモート研修等実施によるCO2排出削減に貢献した。（実績：▲2160kg-CO2）   |

## 中長期環境経営目標 達成状況

### ◆アイレック2030の目標について

2030年までにCO2削減貢献量を自社排出量の100倍以上にする ⇒2021年度 73倍を達成



### ◆中期目標 2020～2025年度について

- ・2025年までにCO2自社排出量を2020年度比2%減を目指す ⇒2021年度取組み目標に設定⇒**達成!**
- ・売上目標達成による削減貢献量アップを目指す ⇒2021年度は目標達成率79%であったが、今後も引き続き実施する

## 【2022年度環境経営目標】

| 全社取組目標 | NO | 項目                                  | 数値目標                                   | 具体的な取組  |
|--------|----|-------------------------------------|--|---|
|        | 1  | 二酸化炭素排出量の削減                         | 2019年度比2%減                             |   |
|        | 2  | 電気使用量の削減                            | 2019年度比1%減                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼、残業時等不要箇所の消灯徹底</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの推進</li> <li>・再生可能エネルギー導入後の効果検証（つくば）</li> </ul> |
|        | 3  | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減                    | 2019年度比2%減                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの徹底、環境適合車両導入（リース更改時）</li> <li>・WEB会議の導入による移動の負担を減らす</li> </ul>                  |
|        | 4  | 事務用紙の削減                             | 2021年度比同等                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類保管の電子データ化の推進</li> </ul>   |
|        | 5  | 廃棄物処理法及び建設リサイクル法遵守                  | —                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェストの推進</li> <li>・建設リサイクルの推進</li> </ul>   |
|        | 6  | エコ検定の取得促進                           | 環境推進責任者の保有率100%を目指す                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者の把握、共有<br/>(2022.3現在 27名/全社、1名/環境推進責任者)</li> </ul>                                 |
|        | 7  | CO2排出削減貢献量を、2030年までに自社排出量の100倍以上にする | エースモール：14000 t-CO2<br>エスパー：12000 t-CO2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業績、売上UPによる貢献量を増やしていく</li> </ul>   |

| 組織別<br>取組<br>目標 | 組織名                                      | 取組目標   |
|-----------------|--|--|
|                 | 非開削推進事業本部（本店）                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・打合せ時の資料電子化</li> <li>・紙の両面印刷 30%以上 NUP 印刷 8%以上 達成</li> <li>・マシンレンタル契約のWEB化</li> </ul>     |
|                 | 設備診断再生事業本部                               | アイドリング時間の削減 2021年度比▲45%  |
|                 | 東・第一事業部                                  | 化石燃料（ガソリン）使用量 2021年度比▲20%<br>・遠距離現場では、極力現地でレンタカーを調達し、移動は公共交通機関を使用する。<br>・2022年12月に車検切れとなる車両をEV車に変更する。                            |
|                 | 東・第二事業部                                  | エスパー調査によるCO2削減貢献量 3,000t   |
|                 | 非推本・第二技術部                                | 電気使用量の削減 対前年比▲1%   |
|                 | 西日本営業本部（非推本宮西 含む）                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ印刷（両面、N-up）割合の増加（2021年度比+5%）</li> <li>・一般廃棄物量（シュレッダー袋、SSBOX）の削減（2021年度比▲5%）</li> </ul> |
|                 | 北海道支店                                    | ガソリン使用量 2021年度比▲4%   |
|                 | 東北支店                                     | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減 2021年度比▲5%  |
|                 | 東海支店                                     | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減 2019年度比▲2%<br>・エコドライブの徹底、かもしれない運転、十分な車間距離確保により、安全運転&エコ運転を励行する。<br>・公共交通機関の活用、遠方は公共交通機関+レンタカーの活用をする。             |
|                 | 中国支店                                     | 紙の使用枚数削減 2021年度比▲7%  |
|                 | 四国支店                                     | 紙の使用枚数削減 2021年度比▲5%  |
|                 | 九州支店                                     | 化石燃料（ガソリン）使用量の削減 2021年度比▲2%  |
|                 | 企画総務部                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務実施率 目標20% 再チャレンジ</li> <li>・勤務票のペーパーレス化を全社展開</li> <li>・管理者のエコ検定取得</li> </ul>          |
| 安全品質管理部         | リモート研修等実施によるCO2排出削減に貢献する。（目標：▲440kg-CO2） |  |

## 8. 地域社会との共生及び環境関連情報の公開による社内外コミュニケーション

EA21の活動を契機として、地域社会との共生・社会貢献活動及び環境関連情報の公開による社内外とのコミュニケーションを積極的に取り組む

### ◆社会貢献活動

- ①2010年度から節電の一環として、全社で「セタライトダウン」を実施
- ②本店ビル周辺の清掃活動（大江戸清掃隊）を2012年6月から毎月1回実施  
⇒今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- ③2017年度から「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加



【大江戸清掃隊】



【福島ひまわり里親プロジェクト】



### ◆社外コミュニケーション

当社ホームページにEA21に係る環境活動及び本業における環境貢献の内容を掲載

### ◆社内コミュニケーション

- ①朝礼や社内会議等に於ける環境活動の周知及び社内システム上のメール及び共通ファイル閲覧により「EA21」活動の周知及びフィードバックを随時実施
- ②「環境社会検定試験（eco検定）」資格取得を推奨（2022年3月時点 27名保有）



## 9. 環境関連法規の遵守【環境関連法規の違反・訴訟等の有無】

| 関係法令   | 対象期間         | 該当する企業活動              | 遵守する事項   | 取組結果の評価         | 今後の取組み            |
|--|--------------|-----------------------|--|-----------------|-------------------|
| ・廃棄物処理法<br>・建設リサイクル法<br>・水質汚濁防止法<br>・浄化槽法<br>・有機溶剤中毒予防規則<br>・PRTR法<br>・消防法 | 2021年4月<br>～ | (1) 産業廃棄物の排出          | ①廃掃法：産業廃棄物の適正処理委託・関係書類保管・マニフェスト発行管理・産業廃棄物管理票交付状況報告       | ○               | 引き続き環境関連法令の遵守に努める |
|  |              |                       | ②建設リ法：特定建設資材廃棄物（コンクリート、Asコンクリート、木材）の再資源化                 | ○               |                   |
|  | 2022年3月      | (2) 建設現場、工場における水質汚濁防止 | ①建設現場での濁水流出防止  | 該当工事なし          |                   |
|  |              |                       | ②事故等緊急事態時の措置   | 事故なし            |                   |
|  | 2022年3月      | (3) 化学物質の使用           | ①SDS（化学物質安全データシート）及びVOCの確認（PRTR法、大気汚染防止法、安衛法、有機溶剤中毒予防規則） | ○               |                   |
|  |              |                       | ②PRTR法第1種指定物質の種類及び使用数量等確認【シンナー（トルエン等）】                   | 水性塗料に移行済のため該当なし |                   |
|  |              | (4) 可燃物の使用及び保管（軽油等）   | 消防法（少量危険物貯蔵取り扱い）   | ○               |                   |

◆活動を開始した2010年～2021年3月まで環境法令に関する違反及び訴訟はありません。

◆関係当局からの違反などの指摘、地域からの苦情等もありません。

# 10. 代表者による評価と見直し・指示

| 項目   | 変更   | 指示事項等   | 環境管理責任者の対応  |      |
|--|--|---|---|------|
|  |  |   | 実施日   | 内容   |
| 1.環境経営方針   | 無  | 継続実施  | 2022.11.21  | 継続実施 |
| 2.環境経営目標   | 無  | 継続実施  | 同上  | 継続実施 |
| 3.実施計画   | 無  | 継続実施  | 同上  | 継続実施 |
| 4.仕組み  | 無  | 達成状況等について社員周知   | 同上  | 継続実施 |
| 5.全体評価   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営活動については概ね成果を挙げていると評価する。</li> <li>・実績把握方法等の現状を確認すること。</li> <li>・達成状況や成功事例についてデータを開示するなど社員周知を図ること。</li> </ul>             |   |      |
| 6.経営上の課題とチャンス  | <b>課題(外部要因)</b>  |   | <b>課題(内部要因)</b>   |      |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市場拡大が停滞する中、NTT市場が縮小し続けて売上が減少していること。(特に、NTT市場依存度が高い非破壊探査、点検リニューアル事業)</li> </ul> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市場拡大に向けたNO-DIG技術の改良改善の意識が不足していること。</li> <li>・NTTグループで必要な技術を継承すること。</li> </ul> |      |
|  | <b>チャンス(外部要因)</b>  |   | <b>チャンス(内部要因)</b>   |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・NTTインフラネット社の子会社になり、一般市場拡大に向けた営業力強化が期待できること。</li> <li>・テレワークやDX化等による業務効率化やワーク・ライフ・バランスの見直しが進むこと。</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しいNO-DIG技術、機械類を保有していること。</li> <li>・改良、改善によって一般市場に活用できるNO-DIG技術、機械類を保有していること。</li> <li>・NTT研究所の持つ最先端技術を利用できる。</li> </ul> |   |      |

# 環境経営レポート

2023年1月17日

アイレック技建株式会社 企画総務部  
〒111-0034  
東京都台東区雷門1-4-4  
ネクストサイト浅草ビル8F

(問い合わせ先)

E M S事務局 富田      TEL 03-3845-8109  
FAX 03-3845-8119